

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

| | | | |
|-------|-------------|------|----------------|
| 受診施設名 | 村松保育園 | 施設種別 | 保育所 (旧体系：) |
| 評価機関名 | 社団法人京都府保育協会 | | |

平成24年11月 8日

| | |
|---------------|---|
| 総 評 | <p>村松保育園は、京都市左京区岩倉に位置し、昭和49年11月地域住民の強い要望に応え京都市が建設、定員60名で開所されました。その後、平成13年4月社会福祉法人の認可を得て、公設民営保育園として運営し、更に平成17年4月京都市より譲渡を受け民設民営保育園として今日に至っています。</p> <p>保育理念は「岩倉地域の恵まれた自然環境をおおいに活用して、小さい頃から五感を磨き、丈夫でしなやかな体づくりをめざす。また、人として生きる意欲と優しさを育み、あらゆる力を生涯にわたって生かしていける基礎をやしなう」を掲げ、土と緑と光の中で、子どもたちが自然に親しみ、さまざまな体験を通して、丈夫な体・豊かな心を育てる保育を実践しています。</p> <p>地域子育てステーション「むらまつっこ」を開設し、園庭開放やプール開放、子育て講演会、子育て相談、お年寄りとの交流、地域の小中学校との交流等を積極的に行い、地域との関りを深めています。</p> <p>保育サービスの向上に向け、園長・主任保育士を中心に「守るべきものは守り、変えるべきものは取り入れる」を基にした、保育内容・保健安全・施設備品環境・地域活動・研修の5委員会を設置し、保育サービスの改善に取り組んでいます。</p> |
| 特に良かった点(※) | <ul style="list-style-type: none"> ・保育理念の「五感を磨く」に基づき、豊かな自然の中で散歩に出かけ、体を鍛え、動植物に触れ、驚き・感動し、散歩で収穫した自然物を制作活動に活かし、園舎内のいたる所に展示するなどさまざまな実践がなされています。 ・保育課程・指導計画を冊子にまとめ、園の現状と課題を明確にし、年度の重点的取り組みと具体的計画、各種の年間計画が作成されています。 ・給食室は「家庭の台所」を目標とし「子どもにとって」の視点で、保育士等と連携をとりながら、様々な取り組みを実施しています。「給食室から子どもたちへの発信」の具体的活動を提案するよう日々努めています。 |
| 特に改善が望まれる点(※) | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の教育・研修に関する姿勢は明示されています。今後、組織としての目的意識を明示した研修計画が明文化されるとなお良いでしょう。 ・利用者に関する記録を厳正に管理していますが、保存、廃棄に関する規定が定められていません。実行している事を規定として文書に反映する事が望めます。 ・保護者に、園での様子を知らせるため各クラスに置いている日誌については、個人情報保護の観点から記述内容に配慮されるとなお良いでしょう。 |

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

| | |
|-------|------------|
| 受診施設名 | 村松保育園 |
| 施設種別 | 保育所 |
| 評価機関名 | 京都府保育協会 |
| 訪問調査日 | 平成24年11月8日 |

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|-----------------------|------------------------------------|--|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| I-1 保育の理念・基本方針・目標 | I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。 | ① 保育の理念が明文化されている。 | A | A |
| | | ② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。 | A | A |
| | I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。 | ① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。 | A | A |
| | | ② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。 | A | A |
| I-2 計画の策定 | I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | ① 中・長期計画が策定されている。(非該当) | 非該当 | 非該当 |
| | I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。 | ① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている | A | A |
| | | ② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。 | A | A |
| | | ③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。 | A | A |
| | | ④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。 | A | A |
| | | ⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。 | A | A |
| I-3 管理者の責任とリーダーシップ | I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。 | ① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。 | B | A |
| | | ② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。 | A | A |
| | I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | ① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。 | A | A |
| | | ② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | A | A |

「自由記述欄」

・保育理念・方針・目標ともに、保育の視点がわかりやすく明記され、法人が目指す方針がはっきりと伝えられています。また、地域の豊かな自然の中で育つ子どものイメージをしっかりと捉えて、職員・利用者等に周知されています。
 ・「保育の計画」(保育課程・指導計画)を冊子にする事で、保育園の現状と課題・重点的取り組みと具体的計画を明確にし、利用者等に周知しています。また、それに基づき組織的に各指導計画が立てられ、定期的に評価・見直しが行なわれています。
 ・管理者は保育サービスの向上に向け保育内容・保健安全・施設備品環境・地域活動・研修の5つの委員会を設置し、各委員会からの課題の改善に努めるとともに、地域の福祉や保育に対する動向を把握し、業務の効率化や経営の改善に努めています。

II 組織の運営管理

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | | |
|-------------------|---------------------------------|--|--|-------|---|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 | |
| II-1 経営状況の把握 | II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | ① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。 | A | A | |
| II-2 人材の確保・養成 | II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。 | ① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。 | A | A | |
| | | ① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 | B | A | |
| | II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | ② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。 | B | A | |
| | | II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | ① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 | B | B |
| | | | ② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。 | A | A |
| | II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。 | ③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 | A | A | |
| | | ① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。 | A | A | |
| II-3 地域との交流と連携 | II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 | ② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。 | A | A | |
| | | ① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。 | A | A | |
| | | ② 事業所が有する機能を地域に還元している。 | A | A | |
| | II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。 | ③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | A | A | |
| | | ① 必要な社会資源を明確にしている。 | B | A | |

[自由記述欄]

・管理者は、本園が位置する地域の福祉や保育に対する需要の動向を把握し、必要な人材に関するプランが確立されています。また、定期的に職員との個人面談を行い、就業状況や意向・意見を把握し、必要に応じて改善する仕組みが構築されています。

・職員の教育・研修に関する姿勢は明示されていますが、組織としての目的意識を明確にした研修計画を明文化されるとなおいでしょう。

・実習生の受け入れに対し、意義や方針を明文化し全職員に周知されています。また、受け入れ時には、園長・主任が事前説明・オリエンテーションを行い、養成校との連絡を密に取り合えるよう努め、実習指導者には保育実習に対する理解・指導を深めるため研修に参加しています。

・中学生のチャレンジ体験を受け入れ、職員全体の理解のもと、次世代の育成に努めています。また、隣接する小学校で毎年行われる「ふれあいの集い」には、園児の作品を出展するとともに、準備や会場運営に参加しています。

・平成11年度より地域子育てステーション「むらまつこ」を開設し、園庭開放・プール開放・子育て講演会・子育て相談等積極的に行い、地域とのかかわりを深めています。また、開設当初よりボランティアを募り、子育て経験豊かな人材の参加・協力を得て、子育てに悩んでいる若い母親達のアドバイザーとして活躍し、地域と園との交流の場ともなっています。

・必要な社会資源をリスト化し、関係機関と連携することで保育サービスの向上に努めています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|------------------------------------|-------------------------------------|---|---------------------------------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス | Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | ① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。 | B | B |
| | | ② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 | A | A |
| | Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | ① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 | A | A |
| Ⅲ-2 サービスの質の確保 | Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。 | ① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。 | A | A |
| | | ② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。 | A | A |
| | Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。 | ① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている | A | A |
| | | ② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。 | B | B |
| | | ③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。 | A | A |
| | Ⅲ-3 サービスの開始・継続 | Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。 | ① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。 | A |
| ② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。 | | | A | A |
| Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。 | | ① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。 | A | A |

[自由記述欄]

・平成24年度に個人情報保護に関する規程・マニュアル等を整備されましたが、職員に周知徹底されとなお良いでしょう。
 ・苦情解決の仕組みが確立され、園のしおりに明記し、「保育園総会」等の場で保護者に周知しています。苦情の申し出に対し、その結果を苦情申し出者及び必要に応じて保護者にフィードバックされています。
 ・年3回自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みが行われています。
 ・入園面接は充実したパンフレット等でアセスメントが行われています。また、利用者の情報等を職員間で共有すると共に、職員会議では記録を残しています。
 ・ホームページを立ち上げ、年度当初に見直しを行い常に新しい情報の発信に努めています。園の紹介ビデオは保護者とともに作成し、保育理念・保育目標に基づいた子どもたちの生活を紹介しています。
 ・毎年4月「保育園総会」において「園のしおり」を配布し、利用にあたっての説明を行い、保育サービスや料金については、書面にて保護者の同意を得ています。
 ・転園にあたっては、必要事項を転園先に書面で申し送り、必要であれば直接連絡をとり、保育の継続性を保つよう努めています。

IV-1 子どもの発達援助

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|------------------|------------------|--|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-1 子どもの発達援助 | IV-1-(1) 健康管理・食事 | ① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している | A | A |
| | | ② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている | B | A |
| | | ③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている | A | A |
| | | ④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している | A | A |
| | | ⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている | A | A |
| | | ⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている | A | A |
| | | ⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している | A | A |
| | | ⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている | A | A |
| | IV-1-(2) 保育環境 | ① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している | A | A |
| | | ② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている | A | A |
| | IV-1-(3) 保育内容 | ① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている | A | A |
| | | ② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している | A | A |
| | | ③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている | A | A |
| | | ④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている | A | A |
| | | ⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている | A | A |
| | | ⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している | A | A |
| | | ⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している | A | A |
| | | ⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している | A | A |
| | | ⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる | A | A |
| | | ⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる | A | A |
| | | ⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる | A | A |

[自由記述欄]

・健康診断後、嘱託医との会議の場を設け、その場で得た情報は「保健だより」等で発信しています。また、個々の結果については、一人ひとりの保護者に伝達し、職員には職員会議等で周知して今後の保育に反映させています。

・オープンキッチンの調理室は「家庭の台所」を目指し、子どもや保護者にも親しみやすい場所となり、適温提供や噛む力を育てる工夫が盛り込まれた「おやつ」、また、豊かな自然環境の中、散歩で見つけた野いちごをジャムに加工するなど、理念の中にある「五感を磨く」に基づいた趣向が凝らされています。伝統の行事食に加え「運動会がんばろうメニュー」や各クラス発表会に登場する「主人公のクッキー」、「お楽しみ会の忍者飯」や「Xmasケーキ作り」など、保育現場と調理室が一体となり、保育内容を更に豊かにする工夫があります。

・日々の散歩や日常の保育の中で、異年齢児との自然な触れ合いが見られます。中でも年長児による「赤ちゃん当番」では、毎日乳児クラスに入り食事の手伝いや世話をしています。

・年間を素足で過ごし、薄着に重点をおいて健康な体作りを目指しながら、個々の体調によつての配慮もなされています。

IV-2 子育て支援

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|---------------|---------------------------|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-2 子育て支援 | IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援 | ① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている | A | A |
| | | ② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている | A | A |
| | | ③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている | A | A |
| | | ④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている | A | A |
| | | ⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている | A | A |
| | | ⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。 | A | A |
| | IV-2-(2) 一時保育 | ① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている | — | — |

[自由記述欄]

- ・年4回クラス懇談に加え、家庭訪問や個人面談の機会を設け、積極的に保護者に対する子育て支援を行い、その内容が記録されています。
- ・虐待に関して、日々子どもの様子から早期発見に努め、速やかに管理者へ連絡、子どもの生活に対する変化に対応し、子どもを守る体制を職員間で協議し、必要であれば関係機関に連絡する体制が整備されています。
- ・関係機関との連携が出来るように、子どもの発達記録・ケア記録・保育要録等必要な記録が整備されています。
- ・一時保育は、実施されていません。

IV-3 安全・事故防止

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|-----------------|-------------|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-3 安全・事故防止 | (1) 安全・事故防止 | ① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている | A | A |
| | | ② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている | A | A |
| | | ③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている | A | A |
| | | ④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている | A | A |
| | | ⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている | A | A |

[自由記述欄]

- ・調理場の衛生管理は点検表に基づき常に清潔に保たれ適切に実施されています。さらに、保健安全委員が月一回点検し、水回りなどの衛生管理のチェックを行っています。
- ・食中毒発生時における対応マニュアルを整備し、マニュアルに基づく職員研修を実施し、全職員に周知されています。
- ・事故防止のためのチェックリストを作成し、ヒヤリハットの事例を活用し、事故の予防策を周知する取り組みがなされます。
- ・事故・災害発生時対応マニュアル及び不審者侵入時対応マニュアルは、園の環境に沿った独自のマニュアルであり、全職員に周知し、定期的に見直しがなされています。各保育室に防災ずきんを整備するなど、いざという時に備えた対応が整っています。